なぜ、□は□□しないのですか□

なぜ□□は□□しないのでしょう□

そうですね、でも□□しないことは□いことです。

なぜなら□□はそのような□□ですべての□□の□にある□□の□を□じるからです。

□□□□び□□□なものが□されている□□の「□□として□く□□」においてです。

□□が「□き」として□なすこと、

つまり□□が□□のどこか□の□□に□□することから、

□□の□□な□□の□□にいたるまでが、なぜ□きるかというと、

この□が□□の□□□を□く□じさせ、

その□□で□□を□たすことを□□□にし、

□□はより□きい□□□に□する□□を□き□め、

Written by Administrator
Sunday, 03 May 2009 11:48 - Last Updated Friday, 18 June 2010 21:47

それが□しい□□□に□ずあると□□するからです。

□□はちょうどそこまで「□く」だけで、それ□□□くことはありません。

もしもこの□□が□□しないなら、□は□の□□すらも□かさないし、□をかくことさえもしません。

それは、どのようにして□□□の□びを□□□の□□で□□するのかというエゴのE=mc2のようなものです。

この□□は□□にでもあります。

□□がそのような□で□□されないかぎり、□□が□□に□□しないこともそれです。

□□はいつでも□□たちの□える□しみか□びのどちらかを□□し、

いつでも□びを□びます。

それは、すぐに□に□るものか、□々の□しみを□っても□□みのあるより□きな□びのどちらかです。

しかし、□びはそれ□□では□□していません。

それを□じる□に□かそれと□□のものが□□の□になくてはいけません。

□□はなにも「□□」としては□□しないのです。

□□はただ□□することによって□□します。

□は□とくらべて、□かさは□たさと□べて、

□びは□□とくらべて□じるのです。

もし□べるものがなければ、□に□□もありません。

□は□びとは、□□とそれを□たすものが□□する□□であり、

□□が□きいほど、その□びの□□も□きいのです。

ではなぜ□びはいつも□えてしまうのでしょうか□

お□がすこし□った□、どうなるかわかりますよね。

まずなにが□べられるか□えます。

「プレッツェルにしようかな… まだいいかっ」

でも□□□はどんどん□きくなります。

「ホットドック□□にしようかな… いや、ピザまるごと□□にしよう…」

「いやわかったぞ、ステ―キだ□でっかいサ―ロインにしよう□」

□□□□□のひとは□わりに□□ハンバ―グを□□してください□

ベ―クトポテトと□□できる□け□わせと□□に。

そして□□がやっと□た□、

あなたは、□□がつくぐらいの□きなステ―キが□べれる□がします。

その□□の□□は□□その□です。

□□□は、すばらしい。

Written by Administrator
Sunday, 03 May 2009 11:48 - Last Updated Friday, 18 June 2010 21:47

その□は、おいしい。

その□は、まあまあ。

その□は、そのときに□じたこと。

その□は、「もう□□もいらない、これ□□□べたら、□□ち□くなる□」

□□が□さくなったのです。

□□はもうステ―キに□してなくなりました。

そして□びはもう□じることができなくなります。

なぜなら□□が□えたからです。

これらがすべて□きる□□は、

□□が□□□だけを□□させようとしている□□□な□□が

□□□に□□の□□を□□し、□□□なものにしているからです。

Written by Administrator
Sunday, 03 May 2009 11:48 - Last Updated Friday, 18 June 2010 21:47

なぜなら□□□□の□□は□さくて、□□に□□できないようにできているからです。

それにもかかわらず、□□は□□□な□びを□□し、 それがどういうわけか□ずあると□じています。

そしてそれはあります。

しかしそれを□じるためにはまず、 □□のない□□□を□き□せることのできる

□□のないいつまでも□□する□□が□□です。

それをするためには、□□は□□を□たすことに□びを□いださなくてはなりません。

この「□える」という□□は、スピリチュアルな□□であり、

そのひとつの“□わい”は□□□が□までに□じた□びをすべて□□したものよりも□きいのです。

なぜならそれは□□の□さな□□□な□□のなかではなく、

□□のなかで□じられる□びであるからです。

この□□には□□がなく、その□□から□る□びが□きることはありません。